



子ども育成  
プロジェクト

「ほんもの」と「第一線」に触れる

# 劇団ひまわり児童劇場公演 米村でんじろう先生サイエンスショー

子どもの感性を磨き、好奇心を刺激する機会として、劇団ひまわり児童劇場公演と米村でんじろう先生サイエンスショーが開催されました。一流の芸術文化に触れ、真剣な表情や満面の笑みを見せる子どもたちの様子をご紹介します。

これらの事業は「ふるさと美郷応援寄付金(ふるさと納税)」を活用しています。



## 「ドリーム体験！ほんもの講座」 劇団ひまわり児童劇場公演

6月30日に公民館で「ドリーム体験！ほんもの講座」劇団ひまわり児童劇場公演が行われ、町内の小学5・6年生と中学2・3年生、町民の方が「ほんとのきもち」や「木馬がのった白い船」などを鑑賞しました。

オープニングの「ほんとのきもち」では普段「いたくてもいえない」ことや「つたえたい」ことがコミカルに演じられ、会場にいる子どもたちは大笑いしていました。また、「木馬がのった白い船」では子どもころ公園で遊んでいた木馬が古くなって遠くへ行ってしまうというストーリーを上演。子どもたちは真剣な表情を浮かべステージを見ていました。

公演後には、劇団員の皆さんが玄関ホールで子どもたちとハイタッチ。「ありがとうございました」と元気よくお礼をいう児童や「ファンです！」と抱きつく児童たちに、劇団員の皆さんは笑顔で「また見てね」と声をかけていました。

■「ほんとのきもち」の一場面(写真右)と、それを見て笑顔を見せる生徒たち(写真下)



■「木馬がのった白い船」のお話で木馬が書いた手紙を読むシーン(写真左)と真剣な表情で見入る児童たち(写真右)

## 「とことんやる気の夢講座」 米村でんじろう先生サイエンスショー

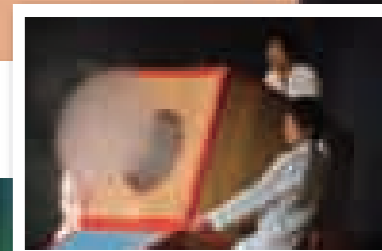
7月2日に公民館で「とことんやる気の夢講座」米村でんじろう先生サイエンスショーが行われ、町内の小学3・4年生と中学1・2年生、町民の方が来場し、ユニークな実験を通して楽しく科学を学びました。

今回が2回目となる講座では、ペーパーメランや空気砲、風船を使った実験が披露され、会場からは大きな歓声と拍手が上がりました。

また、実験の合間にクイズが出題され、正解した子どもたちにはペーパーメランキットとでんじろう先生のサイン色紙がプレゼントされました。

ショーの最後に、でんじろう先生は「理科の勉強は先生にもわからないことがあります。まずは楽しんでみようという気持ちを持って欲しいと思います」と子どもたちに向けて呼びかけました。

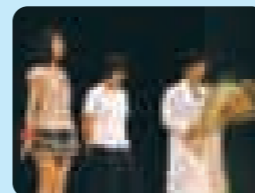
■空気砲を使った実験。煙は空気の渦ができてドーナツ状になって進んでいくよ。



劇団ひまわりの  
皆さん

米村でんじろう  
先生

ありがとうございました!



■出題されたクイズに元気よく手を挙げる児童たち



■しぼんだままの風船と空気が入った風船、どちらが重い？  
空気にも重さがあるんだね。